

平成30年度 第1回芳賀町地域公共交通会議 議事録

- 日 時 平成30年11月7日（水曜日）
午前10時30分から午前11時30分まで
- 場 所 芳賀町役場3階 中会議室
- 出席者 別紙名簿のとおり
- 内 容
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 自己紹介
 - 4 議長選出
 - 5 報告
 - ・ 芳賀町デマンドタクシーの運行状況について
 - 6 議題
 - ・ 芳賀町デマンドタクシーの運行方法の変更について
 - 7 その他
 - 8 閉会

〔開会〕

（事務局）

定刻となりましたので、只今より「平成30年度第1回芳賀町地域公共交通会議」を開催させていただきます。

本日の会議の出欠については、配布資料の芳賀町地域公共交通会議出席者名簿のとおりです。一般社団法人栃木県タクシー協会の鉢村委員は本日欠席となっております。

また、本日の会議は、会議設置要綱に基づき、議事録および資料については、町ホームページで公開させていただくことをご了承願います。

それでは、次第に従い、はじめに会長からご挨拶をお願いします。

〔会長あいさつ〕

（会長）

～会長挨拶（省略）～

〔自己紹介〕

（事務局）

続きまして、次第の3「自己紹介」ですが、本日の会議は今年度初の開催のため、初めて顔を合わせる方もいることと思います。順番に自己紹介をお願いします。

(各委員・事務局)
～自己紹介(省略)～

(事務局)

会議開催にあたり、本会議設置要綱第5条の規定におきまして、副会長を1名置くこととしております。「委員の中から会長が指名する」こととしておりますので、会長から副会長の指名をお願いします。

(会長)

本会議の副会長は、有識者委員であり、公共交通によるまちづくりに幅広い知識をお持ちの宇都宮大学地域デザイン科学部助教の長田委員を指名します。

(事務局)

それでは、副会長から一言ご挨拶をお願いします。

(副会長)

～副会長挨拶(省略)～

〔議長選出〕

(事務局)

続きまして、次第の4「議長選出」に移らせていただきます。

本会議の議長は、要綱第6条第2項の規定により、委員の推薦により会長が指名することとなっています。推薦のある方は挙手願います。

(委員)

芳賀町社会福祉協議会会長の岩村委員を推薦します。

(事務局)

岩村委員を推薦するとの発言がありましたが、会長、いかがでしょうか。

(会長)

他に推薦がないようであれば、先程推薦のありました岩村委員を議長に指名します。

(議長)

～議長挨拶(省略)～

(事務局)

それでは、以後の進行を議長にお願いします。

〔報告〕「芳賀町デマンドタクシーの運行状況について」

(議長)

それでは、次第の5「報告」として、「芳賀町デマンドタクシーの運行状況について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～資料1について説明（省略）～

(議長)

本件は報告事項ですが、皆様からご意見やご質問等があれば挙手をお願いします。

～意見無し～

(議長)

それでは、ご意見、ご質問等はないようですので、次の次第に移らせていただきます。

〔議題〕「芳賀町デマンドタクシーの運行方法の変更について」

(議長)

次第6の「議題」として、「芳賀町デマンドタクシーの運行方法の変更について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～資料2、別紙1、別紙2、参考資料1、参考資料2について説明（省略）～

(議長)

この議題に関して、ご意見やご質問等あれば挙手をお願いします。

(委員)

今回、芳賀赤十字病院を新たにデマンドの目的地として追加するということが、区域外施設を追加するにあたって、そもそも既存の公共交通と接続させることで行くことができないかを考えるのが最初かと思っています。例えば、真岡方面のバスが出ている橋場のバス停まで接続させるとか、あるいは真岡鐵道と接続させることで芳賀赤十字病院にアクセスする方法というのをそもそも検討した方がいい

のではないかと思います。芳賀赤十字病院は真岡鐵道北真岡駅に近いため、そういった検討というのは行っているのでしょうか。

(事務局)

只今のご質問に答えさせていただきます。既存の公共交通として、橋場のバス停から真岡市と宇都宮市を結ぶ路線があります。これについては、現在の時刻表を見ると、橋場発真岡行きの便が、朝は7時台が1本、昼間の時間帯は13時台が1本あり、これ以降は17時以降ということで、デマンドの運行時間内のバスの便というのは、13時台の1本のみとなっています。

これを活用するために、可能であれば、当然ダイヤの改正といったことをやっていただき、本来もともとある交通としてご利用いただけるものと考えたいところですが、現時点でこれを使って日赤に行くとなると1日1便、午後の時間帯となるため、皆様にとっての利用時間帯とは少しずれていくこともあり、通院利用は難しいのではないかと考えています。

帰りについては、16時台以降1時間刻みで日赤から橋場までの便があるので、ひばりタクシーで送って行った後、受診を終えた方が17時過ぎに橋場まで来るとは可能ですが、橋場まで来てもデマンドが動いていないため、橋場からはご家族の送迎などになります。

現在のバスの時刻、ダイヤを見ると、既存バスとの接続は難しいものと感じております。それに伴い町民から日赤に行けないかというお声があったのも事実です。

また、真岡鐵道の多田羅駅、市塙駅についても、今後目的地の追加を行うか検討していきたいと考えています。ただ、現時点で、それを最優先にするかについては、真岡鐵道のダイヤの本数や病院という目的地を考えると、ある程度時間を計算できる形での利用がデマンド交通では可能になるため、まずは住民の方の声を実現するというので、近くに移転が計画されている日赤にデマンドを乗り入れるということを検討して、今回の会議で協議をお願いしているところです。

(委員)

時間が読めるか読めないかで言うと、本来デマンドは時間が読めないものですが、今回の運行では基本的に直行便なので時間が読みやすいものとなります。デマンドのデメリットは、時間が読めないという点で、そこが他の公共交通を使うか使わないかを分ける理由の一つとなると思います。どこにでも行けるが時間が読めない、時間は読めるが決まった場所にしか行けないというところでデマンドと既存の公共交通との棲み分けが上手く出来ている中で、直行便にし、デマンドのデメリットを無くすことで既存の路線との競合が出てきてしまうのではないのでしょうか。時間的にはあまり競合はしないということですが、日赤方面への13時台の便は既存の路線バスに繋ぐという方法も考えられるのではないのでしょうか。

また、料金については、橋場から日赤まで 500 円と設定していますが、町内の移動の基本料金+500 円というのが既存の公共交通の料金体系に配慮した料金設定なのではないかという気がします。

(事務局)

料金に関してのご質問にお応えします。料金の設定については、我々としてもこれが正解だということは持ち合わせておりませんが、一定の参考となるアンケートの結果から、割増料金についても、金額の幅はあるものの、あまり抵抗がないという回答をいただいたところです。町が設定しているデマンドの料金は 200 円、これは町内全域どこへ行っても 200 円です。現在、関東自動車が運行しているバス路線については、橋場から移転先付近の中郷まで約 500 円程度です。町内の橋場より南の方を運ぶ場合、その方はバスを利用すれば 500 円を切る値段になり、町内の北の方に住んでいる方であれば、200 円+500 円で 700 円を払うことも考えられるのではないかということもありましたが、基本的に町内どこへ行っても 200 円というのがそもそものスタートですので、そこに+300 円ということではひとつの定額料金とし、住んでいる場所によって料金が変わるといったことは我々のサービスには適しないとしたところです。我々としては一つの定額料金で運びたいという思いがありましたので、北部に住んでいる方も、南に住んでいる方も、それぞれ時間の差はありますが、料金としては均一とさせていただいたところです。これについては、バス路線との競合は確かにあるかも知れませんが、そこまで格安な料金設定ではないと事務局としては認識しています。

(委員)

既存の公共交通に接続させるのにあたって、時間の読めないデマンドで上手く接続できるのかということではありますが、定時定路線型のデマンドを導入するといったやり方もあるのではないのでしょうか。予約センターから橋場までのルートや、予約センターから市塙駅までのルートといったように、予約のあったときだけ定路線で走るデマンドという形も有り得るのではないかと思います。

(事務局)

現在、フルデマンドとして自宅から目的地までドア・ツー・ドアで運んでいます。その他の選択肢として、定時定路型というものもあります。現状、町内においては、どうしても集落が散在しているので、そういった場所を結ぶためには現在のドア・ツー・ドアの形が一番良いと思っています。ただ、郊外の目的地が今後増えてきた場合には、そういったところを結ぶ定路型というのも選択肢としてあると考えています。交通の体系というのは、地域の生活と共に変化していくものであるもので、今後、定時定路型というのも LRT の導入に伴って選択肢として検討が必要な項目だ

と考えています。

(議長)

その他、ご意見、ご質問等ありますか。

(委員)

一点目として、先程の料金のことに関連して、直行便で病院までということになると、デマンドタクシーという位置づけよりも一般のタクシーという認識を私達は持ちます。そうすると、バス料金との整合性というのは理解するが、一般タクシーを使用してもらえなくなるという部分については町としてはどのように考えているのでしょうか。確かに住民サービスとしては非常に良いことだと思いますが、働くものとして、一般タクシーのお客様までデマンドタクシーで運んでしまうということを懸念しています。

2点目として、定員9名ということですが、同時刻に9名以上の予約が入った場合には、町としてはどのような対応を考えているのでしょうか。以上の2点についてお教え願います。

(事務局)

まず一点目については、働く方の競合する部分のお仕事に関係する部分で、現在、芳賀町が町内のデマンドタクシーを運行している中で、当然、町内の交通事業者様のご理解をいただいて200円という格安の料金でやっています。これが行政のデマンドとしての位置付けだと思っています。これまで日赤に行っている方は、どういう手段で行っていたのか、となれば、家族の方の送迎やタクシーをご利用されている方もいるかも知れません。その中で、行きたいけれども、コスト的な原因で行けないという方を、今後は行政サービスとして行けるようにするというのを考えています。そうは言っても、一方的に我々が交通事業者様を圧迫するようなことは考えたくありませんので、当然、真岡市の交通事業者様にもお話をさせていただいて理解を得ていくというのは考えているところです。その際に、料金については、町としてこの金額じゃないとだめだ、といったことは今のところ話には挙がっていませんので、定額料金というのが基本的にデマンドであり、これを高くしてしまうと、デマンドサービスとしての根幹が崩れてしまうものと考えていますので、行政サービスの一つとしてなかなか収支で切れない部分はあると思いますが、一定のご理解をいただきたいです。

2点目については、現在のデマンドにおいても、当然予約定員を超えてしまった場合、次の便を利用させていただくということをお願いしています。日赤はほとんどが予約制で動いていますので、その予約がある程度分散されてくれば運べるのではないかと思います。皆様に予約をずらしていただくとか、1つの便に集中しないよ

うにするとか、サービスを享受する利用者側で調整いただくものであると思っています。ただ、スタート当初は多少混乱することもあるかと思いますが、徐々にフィットしていくと考えているところです。

(議長)

その他、ご意見等ございますか。

(委員)

他の自治体の公共交通会議にも出席させていただいており、議題として多くなっているのがデマンド交通のコース、目的地、施設の追加です。時代によってお客様の需要というのは変わってくるので、目的施設がどこになるのかも変わってくることは仕方が無いと思いますし、お客様目線で言うと非常にいいと思います。

その一方で、このように拡大していくと、既存交通機関への影響というのは出てきます。現在はデマンドタクシーがあるからといって、我々が運行している路線バスの利用人数が減っているといった感覚はありませんが、今後段々とバス事業の運輸というのが減っていくことはあると思います。本社の宇都宮市から茂木町に行く路線がありますが、宇都宮市から茂木町というのはバイパスという大きい道路が開通したことで、車であれば約45分から50分で到着します。その一方で、本社の路線については、本数が少なく、ルートについては迂回をして旧道沿いの非常に細い道を走っています。本来は、バスというのは、幹を通すもの、その一方でデマンドタクシーというのは、小さい、小回りの効くところを枝葉のように走っていただくのが理想的ではないかと思っており、いずれ、これらについては、ある程度、役割分担をしっかりとしていかないと、無駄に競争するというのもったいないと思います。また、バス業界やタクシー業界も運転手不足というのがこれから深刻化していきます。是非、LRTの運行開始を目標として、こういう場でも良いのでもう一度役割分担を考えていただきたいです。

もう一つは、デマンドについては、町民向けであると思いますが、他市町から来た方にもご利用いただけるような形というのを考えていただければ輸送の効率性も上がると思いますし、その分だけ行政から支出している財政負担も良くなっていくと思います。

(事務局)

それぞれの役割分担の中で、デマンド交通が担う部分というのは、我々も認識しているところです。本来、バスに関しては、幹線バス、支線バス両方あるかと思いますが、今回のデマンドの運行範囲と重複するバス路線のダイヤを見ますと、少し我々が求めている日中の移動に関しては厳しいのかなというところで、同じ路線で、バスと似たような形で日中の運行をしていくこととなります。そういう意味では、

先程話のあったような役割分担とは少しずれてしまうのかも知れませんが、今後、交通環境が変わっていく中で、LRTが基幹公共交通として入ってくる、それを支える幹線バス、支線バス、そして町内移動はデマンド交通ということで、役割分担の認識は十分持っていますので、これを最終的にどう作り上げていくかというのを今後考えていきたいと思っています。

(議長)

その他、ご意見等ございますか。

(委員)

日赤の開業に合わせて、時間で運行することとなっていますが、デマンドで一軒一軒回って時間通りに日赤に着くのでしょうか。それとも各小字、例えば祖母井だったら役場、下延生だったら城興寺など、地域の集合場所に集まってもらって行くという方法にするのでしょうか。今まで通り、一軒一軒回ってからだ時間通りに着くことが出来ないのではないのでしょうか。その場合、地域で集合場所を見つけ、バス停みたいなものを作らないといけません。バス停までは仕方が無いから歩いてもらわないといけません、そうでもしないと時間通りの運行ができないと思います。いかがでしょうか。

(事務局)

今日、皆様にご説明させていただいた運行方式においては、基本的に、今のデマンド交通と同様にご予約のあった家を一軒一軒回って最終的に日赤に送らせていただくという計画です。町内を約1時間程度で回り、20分から30分で日赤までお届けするということになります。ワゴン車1台しかなく、9人乗りで、なかなか20人30人を一度に運べないので、その経路によっては町内を回って1時間で済むのかということはあると思いますが、水沼委員からお話のあったような形がとれれば、もう少し時間も読みやすくなると思っています。あとは、利用する方が、今後、どれくらい増えていくかによって変更も考えないといけないとは思いますが、これからスタートの話なので、まずは今日説明した内容のサービスを皆様にご利用いただき、どういう風に変っていくのかを見ながら、今後新たに需要が増えてくれば再考する必要があると思っています。現時点では一軒一軒回らせていただくような形をとっています。

(委員)

一軒一軒回ったのでは、時間通りの運行が出来ません。稲毛田の方から、例えば西高橋の方まで行くとすれば、時間通りの運行が出来ません。それならば、何ヶ所か集合場所を作って地区で一箇所に集まってもらって拾うといった運行方法でな

いと上手くいかないと思うのですが。

(議長)

乗車定員が9名なので、1時間の中で何とかなるだろうといったことで今回のサービスとしているのではないのでしょうか。いずれにしても、やってみてどうなるかといったことですよ。

(事務局)

状況を見て見直ししていきたいと思っております。

(委員)

私は年寄りですので、そういったところを検討していただきたいです。

(議長)

その他、何かございますか。

(委員)

本社は、日赤が新設する場所までのバス路線を、旧東野交通として、現在は関東自動車として運行していますが、利用者減により運行本数が今の本数になっているということで、関係する沿線市町や利用者の方にご迷惑をおかけしているところですよ。

「**別紙1**」のふれあいタクシー「ひばり」の運行範囲図にあるとおり、基本原則は町内ですが、大きな総合病院である日赤が近くにくるということもありますので、目的施設の追加を行い、ドア・ツー・ドアの直行便で計画されているところですが、出来ることならば、私どもバス会社としても、日赤の移転の話が出たときに、多少路線の付け替えをして、バスの乗り入れをご相談させていただいたところですが、バスの乗り入れは不可とのお返事をいただいたところですよ。

デマンドタクシーについては、日赤へのバスの乗り入れは可能ですので、より一層、自宅から病院までの利便性というのは高まっているところであると思います。

出来ることならば、バスよりも利便性が高いところもあるのも含めて、バスよりは少しでも運賃設定を高くしていただくとバス事業者サイドとしてはありがたいです。バスも公共交通として便利なところもありますので、その便利さを加味した運賃設定というところを踏まえていただければと思います。

その分、タクシーとしての利用の運賃もあると思いますが、地域外に出た上での運賃設定も含めて、もう少し検討していただくと事業者サイドとしてはありがたいというところですよ。

また、他の市町でも、大きな総合病院が地区内にないところでは、地域外に行き

たいとの要望はあります。その時には、まず試験的に、ある程度、移動制限をかけさせていただいて運用し、利用人数を1年間試験的に把握させていただいて、また、町民の方のご意見をいただきながら、少しずつ変更していくということもあります。

例えば、車がないと行けないとか、移動が困難な方に限定させていただいて利用させていただくとか、そういうことも場所によってはやっていたりしますし、また、他の市町同士でデマンド交通を結節させて、乗り継いで行くということもあります。

公共交通なので、バスありきではないので、お互いの市町のデマンドを行政境で結節させて、そこから乗り継ぐという方法など、いろいろと方法はあると思いますので、原則町内に納めていただくことというところで、運送空白地域をできる限り輸送していただいて、幹となるところは、バスやこれから運行するLR Tで運送するという形で出来るのが望ましいと思いますので、今後、計画を立てる際には、バス事業者を含め、より良いものを作っていきたいと思いますので、ご意見として述べさせていただきます。

(事務局)

今回の目的外施設の追加については、医療機関という特殊性、現在のデマンド交通の約半数近くが医療機関に行く方の需要が非常に多いという中で、芳賀町の近くに日赤が移転するという、町民の期待感が非常に高まっているというのは、2、3年前からずっと話をいただいていたところですが、当然、考えることとすれば、「デマンドでそこまで行けるといいな」という話になります。

一方で、競合する路線として、関東自動車様のバス路線が走っている、それからタクシーもあるということは十分承知しているところです。

その中で、何とか実現できるように関係機関と調整をしながら、今日に至った訳ですが、皆様から頂いた様々な意見を、今後含めながら、最終的にはスタートしていきたいと考えているところです。

(議長)

町としても、中長期的には、住み分けをもう少し考えるとか、その他、やっていく中での検討事項はあるかと思いますが、総じて、これでスタートすることについて、決定的な反対という意見はなかったように感じていますが、この「芳賀町デマンドタクシーの運行方法の変更について」承認するというところでよろしいでしょうか。

～異議なし～

(議長)

異議がありませんので、承認といたします。

〔その他〕

（議長）

次に、次第 7 の「その他」ですが、事務局から何かありますか。

（事務局）

その他については、特にございません。

（議長）

せっかくの機会ですので、皆様の方から何かご意見等あればお願いします。

～意見なし～

（議長）

無いようですので、以上で本日の議事は全て終了とさせていただきます。

以上で、会議の進行を事務局にお返しします。

〔閉会〕

（事務局）

最後に、会長から一言コメントをお願いします。

（会長）

～会長コメント（省略）～

（事務局）

以上を持ちまして、第 1 回芳賀町地域公共交通会議を終了させていただきます。